

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	ぬくもりの田舎暮らし推進事業	担当者	協働活動推進課 定住促進係
-------	----------------	-----	---------------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5.持続可能な村、住民が主体の村/定住人口の増加/集落維持と定住対策
関連する主な計画等	
根拠法	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	空き家データベースへ登録した空き家の所有者及び当該空き家の所有者等と賃貸借契約者で定住する者
事業開始年	H21 <input type="checkbox"/> 時期不明
事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定 <input checked="" type="checkbox"/>

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	阿智村の定住者を維持し、新たな定住者を確保していくために空き家の有効活用を推進していく。																																																	
具体的取組	平成21年4月より補助金交付要綱施行 空き家の不必要な物の処理、簡易な改修に要する経費 1/2以内 限度額20万円 平成23年4月より 空き家の不必要な物の処理、簡易な改修に要する経費 10割補助 限度額20万円 平成27年4月より 定住者に対しても簡易な改修等に対して補助制度を追加 1/2以内 限度額50万円																																																	
実績・効果	空き家の室内には不用品が多くあり、他人に家を貸すことをためらう方が多い。不用品の処分で困っている方についてはこの制度を利用して頂くことにより空き家の確保が図られる。新たに定住者にも支援を開始したが3件の利用があり、定住に結び付いている。																																																	
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>件数</td> <td>補助金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>所有者</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>57</td> <td>10,469</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定住者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1,462</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="9"></td> <td>11,931</td> </tr> </table>							H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	件数	補助金	千円	所有者	10	4	9	10	8	6	10	57	10,469		定住者	-	-	-	-	-	-	3	3	1,462												11,931
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	件数	補助金	千円																																								
所有者	10	4	9	10	8	6	10	57	10,469																																									
定住者	-	-	-	-	-	-	3	3	1,462																																									
										11,931																																								
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額																																												
	負担金補助及び交付金	3,287																																																
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																																												
	実績額 (千円)	1,585	1,101	3,287	1,500	1,500																																												
	うち一般財源	1,585	1,101	3,287	1,500	1,500																																												
	うち補助金																																																	
	うち個人負担																																																	
	従事職員 (人)	正規職員 1 臨時職員	1	1	1	1	1																																											

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	不用品の処分は手間と経費がかかりニーズは高い。	B
	手段、成果は妥当か	a	移住者の居住の選択、確保につながる。	
	対象者の設定は妥当か	a	空き家の所有者、移住定住者とし妥当である。	
	村の関与は妥当か	a	空き家の有効活用の推進のため関与は必要である。	
有効性	期待された効果が得られたか		空き家を利用し移住定住を希望される方が家の確保をしやすい。	B
効率性	コストの削減に努めたか	a	移住定住者を確保するための施策として経費は必要	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	制度の見直しを行い定住者も活用できるようにした。	
公平性	受益者負担は適切か		所有者は20万円以上、定住者は1/2 限度額は50万円	B
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	空き家データベースへ登録した空き家所有者を対象としているが、空き家は多いもののまだまだ登録されている方が少ない。
今後の取り組み	空き家調査の結果、新たに空き家と認められる所有者に対し、空き家データベースへの登録、制度の理解を図る。